



# だっこするよ

## 令和元年11月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

### 「火」から 私達が出来る SDGs 環境教育へ

相次ぐ台風や大雨、竜巻など異常気象が続いている。交通機関や農作物、そして住宅など甚大な被害が出て今も復旧にむけて大変な状況だと思います。被災された地域の皆様に心からお見舞い申し上げます。

先日、北区文化振興財団のご協力でムクナバンドさんのコンサートがあり、アフリカのソウルミュージックに触れました。ジェ・ケイ先生とラッキー・ムギスさんの陽気な笑顔とそのリズムに惹き込まれました。音楽は、パワーであり歓びですね。心と心をつなぎます。乳児組さんもリズムに手を振り、体を揺すり、ノリノリでとっても愛らしかったです。神谷保育園、フレーベル西が丘みらい園の長組さんが一緒に参加してくれました。世界の文化に触れる機会、今後は自治会やディサービスの皆さんもお誘いしたいと思いました。

さあ、自然や地域に触れ合う「歩育」です。空が高く、風も爽やか、歩くのに一番気持ちの良い季節です。ひよこ組も歩くのが大好きです。地域の皆さんに見守られ、生まれた赤羽の東西南北を歩き、見て、触って、拾って、五感を通して沢山の不思議や発見を堪能します。私は、直立二足歩行こそ脳と体に健康力を育む運動だと考えます。脳は、ほぼ8歳で大人の95%が発達します。幼児期は人間性知能と言われる前頭前野が特に大きく発達するそうです。だからこそ、今、好奇心の塊のような時間、脳に、五感からの新鮮な情報を送るのです。また、友達や異年齢と一緒に歩くことで会話も楽しそうです。どの子も満足した表情で帰ってきます。心地よい疲労でお腹を空かせて食事も美味しく食べて、深く眠ります。健康こそ大切な財産ですね。是非、お休みの日に歩育、おススメです。

そして、赤羽自然観察公園野外炉での焼き芋パーティー、4、5歳は「火」の体験に取り組みます。先日、講師のファイヤー先生と卒園した小1のお兄さんから「火」の基礎知識を学びました。火起こしに必要な材料、組み木の仕方などを学び…次は、自分で試します。上手く出来ると美味しい焼き芋が食べられるという活動です。焦げたり、生だったりと失敗もあるでしょう…それも楽しみです。

「火を起こす」とは、何でしょう。今「火」は簡単に手に入ります。だからこそ、現代の生活では味わえない「火起こし」を学ぶのです。「知ることの手応え」を心に刻んであげたいと思います。そして、昨年の学びから、ただ燃やすのではなく、少ない資源で燃やす…それは、CO<sub>2</sub>を減らし、環境を守る生き方につながると私も学びました。もはや自然災害は大規模化し、地球温暖化防止は緊迫した課題です。国連の「持続可能な開発目標 SDGs」…私は「地球市民の誰もが、互いに人権を守り、安心した生活を送れるように、そして、自然環境や社会情勢にも当事者として关心や意識を持ちます」と理解しました。未来の地球市民を育てることは、幼児教育のねらいにも重なります。園では、美しい自然に触れること、友達に思いやりをもつことや紙や水や電気を大切にするなどから始めています。昨年、ファイヤー先生は、「火」を語る時、さり気なく子どもの好奇心をくすぐり、問い合わせ投げかけ、やってみようとする意欲を引き出してくれました。「面白かった」「怖かったけど火が付いたとき嬉しかった」と。私は、21世紀の新しい教育は、多様な文化、人、モノ、事に出会うこと、地域の市民が共生や共存の教師であると感じます。それに出会えることは、子どもの権利であり、子どもの最善の利益であると思うのです。写真：スクールコンサート「ムクナバンド」さん